

## 令和3年度 第2回テキスト研修会(第1回は不開講)

テキストの研修部分;テキスト1-5・6・7・8

日時 ;2021年6月20日(日) 13:00~16:30

研修方式 ;オンラインによる

担当 ;綾木光弘

本日のスケジュール;

| 時間          | 内容                         | 備考                                                                            |
|-------------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00~13:15 | 開会挨拶、研修内容の説明               |                                                                               |
| 13:15~13:30 | テキスト1の位置づけ<br>テキスト1後半の位置づけ |                                                                               |
| 13:30~14:15 | 1-5・6・7・8<br>各章の説明         |                                                                               |
| 14:15~14:30 | 休憩                         | 以下の実習は、全員で取り組む                                                                |
| 14:30~15:15 | 実習 ①                       | 地域教室で、テキスト1-5の時に、見学者が来ました。講師として、この見学者に受講を継続してもらうために、何を一番いいと思いますか?どのように説明しますか? |
| 15:15~16:00 | 実習 ②                       | テキスト 1 の後半のところで、講師として、一番講義しにくい箇所はどこですか?それをどう克服しますか?                           |
| 16:00~16:10 | 休憩                         |                                                                               |
| 16:10~16:25 | 質疑応答 感想発表                  |                                                                               |
| 16:25~16:30 | アンケート記入、次回の案内<br>閉会の挨拶     |                                                                               |

20210620 綾木光弘

令和3年度 第2回テキスト研修会(テキスト1-5・6・7・8)について

1)テキスト1とその後半部分とは、どういう部分なのか?

- ① 内容的位置づけ
- ② 受講生に何を伝えるべきか?何を伝えたいのか?

↓

まずは、テキスト1の位置づけを考え、説明(講義)できるようになるには

テキスト1の位置づけ(5冊のテキストの中で)(Q1)

テキスト1の後半(5～8単元)の位置づけ(Q2)

↓

“人間関係を深める話し方”コース →人間関係が深まると、その人の話し方がどう変わるか？ その人の話し方が変わると、人間関係はどう変わるのか？相手の受け止め方がどう変わるか？

↓ <前半1～4単元>

話す能力が、社会生活の最も基本的な能力であることを理解する、

↓

話し方の教室にはいつてみたいと思った動機は何ですか？

(講師は、確りとそれを理解して望まないといけない)

→ほとんどの人は、あがり直したい、人前で堂々と話ができるようになりたい

人と話すとき、人前で話すとき、人に見られているという意識が、その人の根底に強

く

あることを気づかせる

ただ、“話し方”で考えてほしい大事なことは、良い人間関係を創ることを、まずやるべきであり、そのための心構えが必須であると、受講生に知ってほしい

↓

良い人間関係を創るための、話し方の原則(必ず身に付けてほしい基本的なこと)を、まず学んで、理解してほしい

↓ <後半5～8単元>

実用的な話し方の原則・ノウハウが、列挙されている。

(実際は、1～3から列挙が始まっている)

## 2)テキスト1の後半(5～8単元)の名論

1～5 表現の原則 非常に分かりやすい内容であり、受講生には、ストンと腑に落ちる感覚

1. 肯定的な表現

2. 明るい表現

3. 分かりやすい表現 類音語、同音語、あいまい語、かかり方の不明な語句  
→実例で示す(一例をあげてみてください)

1-6 敬意をあらわす表現

敬意をあらわす表現がなぜ重要なのか？

特に若い人にとって、敬語は扱いにくいものという認識

⇔地位の違い等からくる心理的な差を調和させる

敬意的表現の実例を示すことで、受講生に、理解されやすくなる

(＊講師も万能ではなく、敬語の使い方で間違えることもある。というより、完璧に使える人はほとんどいない。でも少しでも完璧に近づくように努力することが大事)

(＊時代とともに、この単元のテキスト内容が、大きく改訂されたことを伝えることも)

1-7 あがらないテーブルスピーチ

あがっている状態とはという説明が明確にできると、受講生はあがりの状態を理解しやすい。自分に当てはめて、考えることができる

あがりは、一気に解決しないが、徐々に解決するものであると解説する方法もある

1-8 人に好かれる心がまえ

”好かれる” ないしは、”好かれている状態”とは、どのような状態であるか？

受講生に誤解を与えない解説が必要

終了時のコメント

テキストの8 単元全体の構成、このテキストは、分かりやすいことばを、できる限り  
用いようとしていることを力説

テキスト2への橋渡し

テキスト1と2は、1 対1の話し方が中心 テキスト3以降との違い

以上